

競技の枠を超え熱戦 スポーツ少年団駅伝大会を開催

「第41回小松島市スポーツ少年団駅伝大会」が1月21日、和田島緑地周辺コースで開催され、市内の各種スポーツクラブから18チームが出場し、熱戦を繰り広げました。

本大会は1チーム6人の構成で、1人約1.4キロの周回コースを走り、総合タイムを競い合うもので、参加した子どもたちは、チームメイトで声を掛け合って健闘を誓い、号砲とともに勢いよくスタート。真冬の寒さに負けず、チームメイトや保護者から声援を受けながら、懸命にたすきをつなぎ力走していました。

大会結果は次の通りです。

【男子チーム】優勝 小松島少年サッカースクールA
準優勝 小松島JVC
第3位 芝田キッズ

【女子チーム】優勝 新開JVC A
準優勝 新開JVC B



市民なわとび大会を開催 跳び続けた時間を競う

「第45回小松島市民なわとび大会」を2月4日、市立体育館で開催、小学生未満から一般の方まで総勢135名が参加しました。本大会は跳び続けた時間を競うもので、事前練習をして準備を整え、スタートの合図とともに参加者は、リズムよくなわとびを跳んでいました。今大会の最長記録は小学5年生女子の部門で出場した森本真由さん(北小松島小)の記録23分4秒でした。

大会各部門の記録はスポーツタウンこまつしま(下記)に掲載しています。

URL: <https://city-komatsushima.sports-town.jp/news/505/>



収納計画ワークショップを開催しました!

2月6日、市役所4階大会議室にて、ライフオーガナイザー、整理収納アドバイザーである、片付けのプロ、竹内真理さんを講師としてお招きし、「収納計画ワークショップ」を開催しました。

講義では、衣服ロスや日本だけでも年間100万トン生じており、新品のまま廃棄されることも多いことや、服を作る過程で生じる多大な環境負荷、大量消費・大量廃棄による残酷な現実などについて教えていただきました。

ワークショップでは、利き脳診断による自分に合った片付け方法や、立ったままで畳めて、重ねていてもわかりやすく取り出しやすい「ショップ畳み」という服の畳み方のコツ、具体的なクローゼットの片付け方法などを教えていただき、理想のクローゼット収納計画を作成しました。

参加者の方からは、「服を捨てることが環境破壊になることを知った。」、「片付けを通して、物ときちんと向き合いたい。」、「楽しかった。具体的に役立ちそう。」という感想をいただき、衣類ロスやエシカル消費について学び、実践につなげる貴重な機会となりました。

小松島市は、今後も持続可能な社会の形成に向けて取り組んでまいります。ご理解、ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。



「ショップ畳み」を実践する参加者



収納計画を考える参加者



説明する竹内さん